

きらりん
☆
西遊記



きらりんが西区を旅する「きらりん☆西遊記」、広報紙とHPで好評連載中！
今日も西区のいろんなところへ遊びに行くよ！

第4回 系の魔法！【刺し子】の巻

みんな、刺し子って知ってる？線を描くように刺しゅうをした布のことだよ！きれいなだけじゃなくて、布の補強にもなるんだって。魔法みたいだね！今回は、この素敵な刺し子のハンカチの作者、阿部達也さんに会いに行ってきたよ～♪



なんと、刺しゅう歴は10年以上の大ベテラン！西区寺尾にある就労継続支援B型スペースBeさんに週に5日通いながら、刺しゅうにもとりくんでいる阿部さん。「完成したら綺麗だろうな。色々な人に使ってほしいな。」って思いながら作っているんだって。それを見守るスタッフの牧野さんは、「大好きな刺しゅうを通して、阿部さんが目標を持って頑張ること、作品を仕上げる達成感を感じてもらうために、みんなで応援しています。」って言うたよ。阿部さんが刺しゅうをして、次にボランティアさんが玉止めをして、阿部さんのお母さんが裏地をつけて仕上げているんだって。みんなで阿部さんを応援しながら協力して作品を作っているんだね。だからとってもきれいなんだろうなあ。き～らりん☆



好きな色は青とピンク

完成まで2週間から1ヶ月かかるそうです

広報紙リニューアル記念！

★クイズ&アンケートに答えて応募 Part2★



6月発行のSunsetOrange創刊号クイズ&アンケート企画では、たくさんのご応募ありがとうございました！応募総数は40件、幅広い年代の方からのご応募がありました。「西区の福祉活動の状況が理解できて参考になる」「各記事個性がありながらも全体的にまとまりがあり読んでいて楽しかった」「ふくしのコラム、参加という言葉を考えさせられました」などのご意見を頂戴しました。ご好評にお応えして、第2弾を企画します！クイズに正解してアンケートと必要事項をご記入いただいた方の中から抽選で10名の方にJCBギフトカード(1,000円分)をプレゼント♪

次の①～⑤の必要事項とクイズ・アンケートの回答をGoogleフォームもしくははがきでご応募ください。

- ①郵便番号
- ②住所
- ③氏名(ふりがな)
- ④年齢
- ⑤電話番号



クイズ

西区社協に寄付された使用済み切手は、どのように活用されるでしょうか？
→災害支援基金に積み立てられ、〇〇〇支援などに活用

アンケート

この広報誌の感想をひと言お願いします。

◆締め切り

2024年1月31日(水)必着

商品の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。個人情報は今回のクイズ&アンケート企画に限って使用いたします。

◆応募先

西区社会福祉協議会(下記参照)
「サンセットオレンジ読者プレゼント」係
もしくは左の二次元コードから



西区社会福祉協議会

西区ボランティア・市民活動センター

〒950-2054
新潟市西区寺尾東3丁目14-41
西区役所健康センター棟1階
電話：025-211-1630
FAX：025-211-1631
メール：ward-csw.w@syakyo-niigatacity.or.jp
ホームページ：https://niigatanishiku-syakyo.jp/



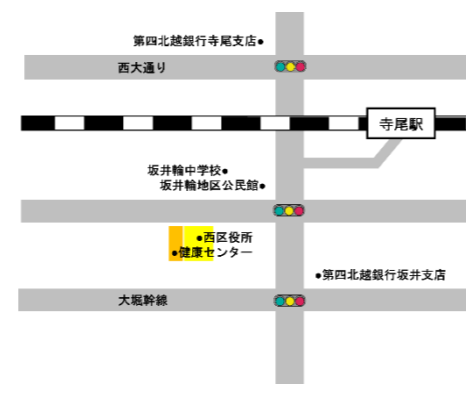
ホームページ
各種様式の
ダウンロードもできます



Facebook
イベントなどの
最新情報をチェック！



◎アクセス◎



社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会

Nishi Ward
Council of Social Welfare

西区社協だより

Sunset Orange

Vol.2(令和5年11月発行)



この夏、イオン新潟西店にて行われた「西区社協eスポーツフェス アソビでふくしに出会う夏」。子どもたちにとって親和性の高いゲームというツールを通して福祉や障がいについて知ってもらおうという企画で、270名の参加者があり大盛況で幕を閉じました。当日は、バリアフリーeスポーツの企画運営を手掛ける株式会社ePARAの全面協力のもと、先天性全盲のプレイヤーによる音声情報のみでの格闘ゲームの実演や、車いすeサッカー選手とプロゲーマーの共闘、肢体不自由のある方も操作しやすいコントローラーによる市社協キャラクターきらりんと対戦など、盛りだくさんでした。参加者からは「ふくしは大変な人の手助けだと思っていたけど、それだけじゃなく一緒に楽しむこともできることがわかった」「当事者との出会いはふくしを知ることになる、そして当事者というくりではなく、一緒に遊んだ仲間達になれる、そんな風に思えました」といった感想が聞かれました。

西区地域福祉推進フォーラムにて
ePARA代表 加藤 大貴氏 特別講演決定！

西区社会福祉協議会
会長感謝状贈呈式同時開催

令和5年

11/30(木)

13:30~16:00

黒崎市民会館
1階ホール

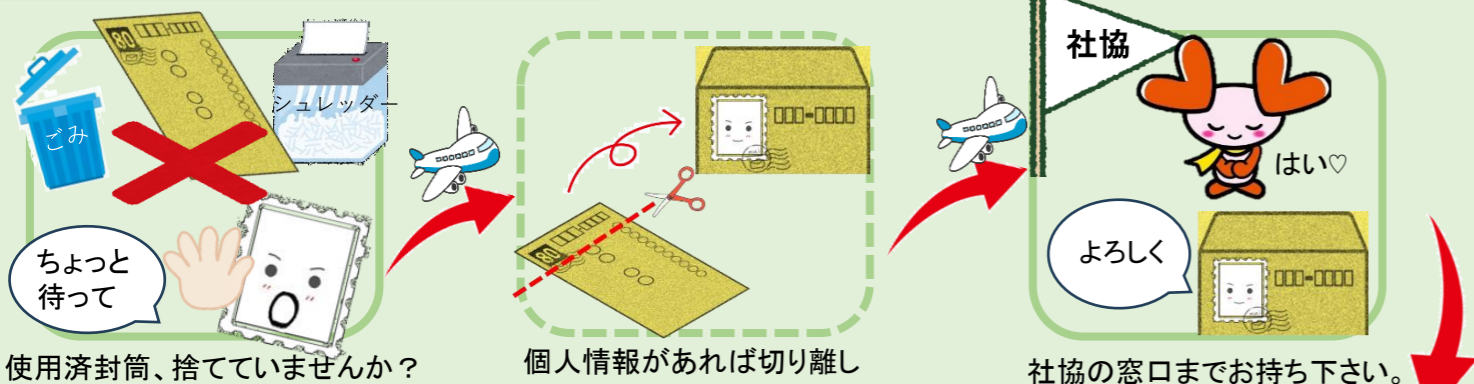


『本気で遊べば、
明日は変わる。』



使用済み切手の旅

西区社協窓口で使用済み切手の回収を行っているのをご存知ですか？
回収後の切手がどのように活用されるのか、ご紹介します！



捨てる“紙”のなかに、
活かす“紙”あり！

捨てずに活かしてSDGs!

収益は新潟市社会福祉協議会の
災害支援基金に積み立てられ、
被災地支援などに活用されます。
みなさんのご自宅や職場などでも
集めていただき「集めて送るボラ
ンティア・寄付活動」として、社会貢
献活動にご協力ください。



切り揃えられた切手は、専門の業者に
重さを量って買い取ってもらいます。



集められた切手は、ボランティアさん
がきれいに切り揃えます。

ふくしの コラム

【こころのバリアフリー】

表紙のeスポーツイベントでは、
視覚障がいがあっても格闘ゲー
ムが楽しめる機能や、肢体不自
由のある人も操作しやすいコント
ローラーなどの活用がされていま
した。こんなふうに、障がいがあ
っても一緒に楽しめる工夫や便利
な福祉機器が数多く誕生し、普及

してきています。バリアをなくすための工夫(バリアフリー)
や、誰もが使いやすい工夫(ユニバーサルデザイン)の考
え方も色々な場面で耳にするようにもなりました。

車いすユーザーの方が「たとえば、もっと身近に車いす
ユーザーがいれば、“自分ごと”じゃなくてもせめて“友達ご
と”として考えられると思うんです。」とお話されていたこと
があります。

自分とは異なる状況にある相
手について、コミュニケーション
を通して相互に理解を深めるこ
と。相手を思いやる気持ちや行
動。機器や設備の工夫だけでは
なく、大切なのはそういった心の
距離感なのかもしれませんね。



西区社協 出前講座

学びたい！ 困ったな...
備えておきたい！



私たちは日頃、各種講座やイオン新潟青山店での社
協のひろばなど、学校や地域の方々向けの講座を企
画・運営しています。

それでも、もっと気軽に楽しく福祉について知ってもら
いたい。また、西区で暮らしや働いたりしている皆さんの
ことをもっと知りたい。そんな思いで出前講座メニュー
を作成しています。

- ・認知症サポーター養成講座
- ・エンディングノート介護版
- ・「よろしくねノート」書き方講座
- ・地域での見守り活動についての講話
- ・ボランティアってどんなもの？
- ・防災をカードゲームで学ぼう
- ・企業や従業員のお悩みに寄り添うふくし講座

講座の内容や構成は、ねらいや参加対象、ご希望
などを打ち合わせのうえ、オーダーメイドで対応するこ
ともできます。西区社協職員だけでは対応が難しい場
合も、外部講師のご提案も可能です。
ぜひお気軽にご相談ください。

教えて！
みつばち
キャラバン隊

今年のボランティア講座『知的障がい・発達障がいの
理解とかかわり』の中で講師をつとめてくれたのは、
「みつばちキャラバン隊」のみなさん！

開催のたびに毎回満席となるみつばちキャラバン隊
の活動について、メンバーのみなさんにお話を伺いま
した！



Q.みつばちキャラバン隊って、どんな団体なの？

⇒新潟市障がい者就労支援企業ネットワーク(通称:みつばち)
から生まれました団体です。知的障がい発達障がいの方々の
感覚や気持ちに焦点を当てた疑似体験を提供する出前チーム
です。



代表
工藤さん

Q.講座では、どんなことをするの？

⇒知的障がい・発達障がい、精神障がいの特性
は外見上わかりづらいため
誤解を受けやすく、周囲が
気がつかず、配慮がしにく
いことが課題です。
障がいのある方が陥りやす
い混乱や緊張、もどかしさを
体験します。

Q.講座を通して伝えたいことは？

⇒障がいに関する理解が広がることで、障がいの
ある人への優しいまなざしを増やしたい。
少数の専門家よりも、多数の理解
ある市民の存在が必要です。
だれでも住みやすい地域
であり、人に優しい地域と
なります。

メンバー
松村さん

企業向け出前講座

もやっています！ サントリービバレッジソリューション株式会社 様の場合

STEP 1 企業からの相談



STEP 2 打ち合わせ



STEP 3 講座開催

- 令和5年5月22日(月)
- サントリー様 研修スケジュール
- ・社会福祉協議会について(10分)
- ・ふくしってなあに?(10分)
- ・障がい理解について(70分)



ユニバーサルデザインの工夫はビジネスではフォントにも活用されていますよ～

自分の当たり前は相手の当たり前じゃない... 確かにそうだよな

～受講後のアンケートより～

- ・優しい環境をつくれるように意識して人と接したい。
- ・周囲の方々を知る努力をしながら、それぞれの方にあった接し方、伝え方を心掛けようと思った。
- ・障がいということについて自分事としてとらえる良い機会になった。

STEP 4 一緒にふりかえり

具体的な声かけ
の方法についても
さらに学びたい！



→ アンコール講座も開催しました！